

令和6年度第1回さぬき市図書館協議会 会議結果

- 1 会議日時 令和6年7月1日(月) 13:30~15:00
- 2 会議場所 さぬき市寒川第二庁舎2階第203会議室
- 3 出席者 [委員]川田 礼子 細川 昌宏 多田 ちとせ
山津 雅子 金岡 エミ子 射場 智矢
松下 幸司 弟月 豊一郎
[事務局]教育長・和田 浩二 生涯学習課長・大生直樹
寒川図書館館長・中村 淑子
志度図書館課長補佐・山下 和久 副主幹・岡田 美奈子
[傍聴者] 0人
- 4 議題 (1) 令和5年度さぬき市図書館事業報告について
(2) 令和6年度さぬき市図書館事業計画について
(3) 図書館利用状況の推移について
- 5 資料 令和6年度第1回さぬき市図書館協議会資料
参考資料 さぬき市図書館協議会委員名簿、さぬき市図書館条例、さぬき市図書館規則、さぬき市図書館職員名簿
- 6 会議の内容

発言者	意見概要
(事務局)	(会議の公開等の取扱いについて説明した。)
(委員)	(公開することで了承された。)
(事務局)	令和6年度第1回さぬき市図書館協議会を開会する。 (教育長あいさつ) (全員の自己紹介) (資料の確認をした。) (川田委員長あいさつ)
(事務局)	議事につきましては、さぬき市図書館規則第2条第2項によりまして、これより議事の進行は、委員長にお願いする。
(委員長)	議事次第に基づき議事を進める。 議題1及び2、事業報告及び事業計画について、事務局の説明を求める。 (議題1及び2、事業報告及び事業計画について説明)
(委員長)	説明に関し、ご意見、ご質問はないか。
(委員)	事業報告を説明いただいたのですが、利用者の声とか、運営の課題が見えてこない。現状の課題点やどういうふうに取り組みしていくのか、そうした考えを示してもらいたい。
(委員長)	現状を把握している職員から、課題等について説明を求める。
(事務局)	子どもの貸出冊数が減少している。人口減少が要因の一つではあるが、子どもたちにいい本と出会ってほしいと願って、そういう気持ちを込めて業務にあたっている。

	<p>ネット環境では、予約システムを導入し、さぬき市にない本は、県立図書館、高松市などから取り寄せて貸出ししている。予約システムの利用は増加傾向にあるが、パソコン等の操作に慣れていない高齢者は利用が進んでいないところが課題である。</p> <p>電子図書については、県内図書館では採用しているところはほとんどないと承知しており、デジタル社会において、課題であると考えている。電子図書については、紙の本が記憶にとどまりやすいと考えられ、賛否いろいろあると考えている。</p> <p>さぬき市の図書館は規模が小さいので、規模に合った図書館づくりを目指したい。古い本ばかりだとあきらめるので、新しい本の回転率を高めて、いい本と出会えるようにしているが、古くていい本と新しくいい本、このバランスをどのようにするかというのも課題であると考えている。</p> <p>事務局としては以上ですが、外から見た委員の意見もお聴きしたい。</p>
(委 員)	<p>時代の流れ、私が小さい時のイメージと現在のイメージは、印刷された紙の本を置いているものから、インターネットで見ることのできる情報、多様化してきているというところがある。図書館は、地域の人が集う場として、本を読むだけでなく、コミュニケーションする場であると考えている。例えば、カフェ的要素を取り入れた本屋や図書館が見られるようになっている。</p> <p>さぬき市の図書館は従来型からあまり変化していない印象であるので、いろいろな世代のコミュニケーションの要素を取り入れるのもこれからの図書館のあり方と思っている。</p>
(委 員)	<p>寒川図書館見学やおはなし会の出前の状況について、回数が少なく、多くの機関が見学したり、おはなし会の出前に来てくれたりできるようになればと思う。</p> <p>寒川図書館を利用した時に、古墳に関する資料を尋ねると、丁寧に説明していただいた。</p> <p>カフェ的要素の図書館は東かがわ市で行っていて、新しい取り組みも必要だと思う。</p>
(委員長)	<p>図書館見学について、図書館から声掛けはしているのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>申し出があれば受け入れする状況である。</p> <p>寒川図書館は狭く、収容人数に限りがあり、積極的な受け入れはおこなっていない。おはなし会の出前は、児童館の配本の際に声を掛けてもらったらしい。</p>
(委員長)	<p>志度図書館は、少し広いので、受け入れが可能である。</p> <p>図書館見学は、子どもたちと図書館が繋がる大きなきっかけになることなので、ぜひとも進めていただきたい。</p>
(事務局)	<p>図書館見学においては、お話しボランティアさんが紙芝居などを行っているので、そういう取り組みを積極的に広報したい。</p>
(委 員)	<p>県立図書館に行く機会がある。親子で読み聞かせを行っていて、親子というところがいいなと思う。</p>
(委 員)	<p>図書カードの総登録者数は55パーセントで、利用者数は8パーセントとなっている。登録はしたけれど利用していない人が多いというのは課題があるのではないかと。</p>
(事務局)	<p>小学校の時に図書カードを作成して、その後、年齢を重ねると図書館を利用しなくなるということが考えられる。</p>
(委 員)	<p>志度公民館が新しく建設され、開館している。公民館が新しくできる時に談話室を</p>

	<p>つくってもらいたいと要望して、談話室が出来たのですけれど、図書館の本をそこに貸し出すことはできないのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>公民館から図書館の本を貸出ししてほしいというお話があって、この7月から志度公民館と長尾公民館に図書館の本を置いて、そこで読めるようにする。</p>
(委員)	<p>読み聞かせに、小学校を主体に行っている。そうしたら、高齢者施設や地域のいきいきサロンでも紙芝居をしてもらえないかと依頼が来る。県立図書館では、高齢者の紙芝居コーナーがある。さぬき市の状況は。</p>
(事務局)	<p>竹林上人など郷土資料の大型紙芝居がある。高齢者用の紙芝居があって数は少ないが置いている。県立図書館を参考に整備に努めたい。</p>
(委員長)	<p>本や紙芝居を県立図書館などの広域で賄えることについてPRをして欲しい。</p>
(委員)	<p>タイトルだけでは内容が分かりにくいので、直接県立図書館などへ行って借りている。</p>
(委員)	<p>ブックスタート事業を教えてもらいたい。</p>
(事務局)	<p>子育て支援課が行っている事業で、赤ちゃんにはじめての絵本を紹介している。3か月検診時に本を紹介する内容の印刷物を配布している。</p>
(委員)	<p>本の要約アプリがたくさん出ている。読書をそそるようなシステムを利用していかないと、登録者は50パーセントに対して利用者数は10パーセント以下という状況を変えられないと思う。読みたいと思わせるアプローチを工夫すべき。アプリを導入する予定はないのか。</p>
(事務局)	<p>アプリについては、今後勉強したい。</p> <p>本の情報発信は、Xで、新しい本が入りましたという情報を発信しているほか、図書館だよりや広報紙には、おすすめの本を紹介している。</p>
(委員)	<p>図書館見学は、市のマイクロバスの利用ができるのか。</p>
(事務局)	<p>学校等で、予約制ではあるが、日程が整えれば利用できる。</p>
(委員)	<p>図書館見学は、小学校2年生がほとんどである。子どもたちに、どういう印象を残すのかが大事。高学年にはいい本との出会いをしてほしいので、教育のカリキュラムの中で利用が進めばいいと思う。</p> <p>知りたいから行くのではなくて、自分の知りたいことって何なんやろう、棚を見ているうちに鳥類っておもしろそう、そういう機会になる場になる、そういうのは低学年では早すぎる、逆に、2年生に印象づける見学プログラムを工夫してみる、ということは大切だと思う。高学年では、郷土の偉人とか、教育のカリキュラムに合わせて展示を工夫し、図書館とつながればいいなと思う。</p> <p>ホームページとか旧ツイッターによる情報発信が出ているのですが、視覚に訴える情報発信があってもいいかなと思う。デジタルサイン、入り口に入った瞬間にわくわくするような仕掛けがあればいいなと思う。ターゲットは、子どもにするのか高齢者にするのか設定しないといけないですが、ずっと変わらないイメージでなくて、その時その時に変化のある、行くたびに新しいことが見えてくる刺激的な、与えてくれる場所になるといいなと思う。</p> <p>志度図書館の魅力はハコではなくてヒトだと思っていて、ヒトが回している図書館だと思う。飾られているもの、工夫に、あったかさを感じる。ホームページを見ると文章がいっぱいあって、ほんとはもっといいところなだけけどなと思っていて、視</p>

	<p>覚的に訴えたり工夫があつていいと思う。</p>
(委員長)	電子図書の話もありましたが、県内の導入状況は、
(事務局)	導入しているところはありません。
(委員)	デジタルの進展に伴い、時代の流れの中で少しでも取り組むべきだと思う。
(委員)	中学校では、本を読むのと競争しているのがユーチューブです。一人一台のタブレットで、スイッチを入れてまず見るのが動画です。要約もあつという間にあらすじが出てくる。正しい知識を得るには紙が必要になる。ネットでさぬき市図書館をみれば、最近の映画の原作あるよ、そういう導入がいいと思う。どういうふうにしたら本を読んでもくれるのかは課題のひとつだと思う。
(委員)	ネットについては、デメリットもあると思う。紙媒体の書き込まれた本の良さはなくなつてはいけないものだと思う。地域図書館として、伝えてほしいと思う。
	図書館から遠い地区に住んでいる人は利用しづらい。
(事務局)	本の収集を、志度図書館はオールマイティに、寒川図書館は子どもの本を中心にしており、特色を持たせている。地域によってニーズが違うと思うが、要望があれば聴いてみたい。
(委員)	志度図書館は児童書のスペースをしっかりと確保できているが、スペースの活用を考えてはどうかと思う。
(委員長)	他に意見がないようですので議題3、図書館の利用状況の推移について、事務局より説明をお願いします。
(事務局)	(議題3の図書館利用状況の推移について説明)
(委員長)	只今、事務局より説明がありましたが、質疑等がありましたらお願いします。
(委員)	本の分類ごとの貸し出し冊数を示していただいて、それと蔵書をシンクロさせれば、充実すべきところが見えてくると思う。
(事務局)	データがないので、今後検討したい。
(委員長)	次の会で資料を出すようにお願いします。
	他に意見はありませんか。
	ないようですので、議事は全て終了しました。
(事務局)	事務局に進行をお返しします。
	次回の協議会は、例年2月ごろを予定しています。閉会にあたり委員長にあいさつをお願いします。
	(委員長あいさつ)
(事務局)	以上で、令和6年度第1回図書館協議会を終了します。